

|           |   |         |                      |            |          |         |
|-----------|---|---------|----------------------|------------|----------|---------|
| 申請者       | 学科名   | デザイン工学科 | 職名                   | 教授         | 氏名       | 森下 眞行 印 |
| 調査研究課題    | 瀬戸伝統染付絵のデジタル・アーカイブ化とその利用に関する研究 II   |         |                      |            |          |         |
| 交付決定額     | 230,000円  |         |                      |            |          |         |
| 調査研究組織    | 氏名  | 所属・職    |                      | 専門分野       | 役割分担     |         |
|           | 代表  | 森下 眞行   | デザイン学部<br>デザイン工学科・教授 | プロダクトデザイン, | 研究統括リーダー |         |
|           | 分担者   |         |                      |            |          |         |
| 調査研究実績の概要 | <p>【研究実績概要】</p> <p>平成22年度より、本学地域貢献特別研究（代表：作元講師）により、伝統的工芸品産地（瀬戸）の活性化を目的に、今日のライフスタイルに適した商品デザインの開発を、産学官（伝統工芸士、商工会議所、大学）の連携により進めてきた。</p> <p>平成24年度までの3年間で、具体的な製品の試作を行いながら、新たなせともの商品の可能性を高めることが出来た。それまでの関わりから、伝統工芸士が伝承する見本帳の保存（アーカイブ化）が、伝統工芸技術の継承に必要と判断し、平成25年度よりアーカイブ化作業を開始した。</p> <p>平成26年度はその継続作業と並行して、愛知県陶磁器工業協同組合（愛陶工）が平成26年4月より開始した瀬戸焼新商品開発事業「ランデブープロジェクト」（平成26年度地場産業振興ビジョン推進事業）にオブザーバー参加を行い、本研究成果との連携に取り組んだ。また、「瀬戸染付焼」の伝承と教育波及効果を目的に、大学内での瀬戸染付ワークショップを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究対象：瀬戸伝統染付絵のデジタル・アーカイブ化とその利用に関する研究</li> <li>・ 研究期間：平成25年4月1日～平成27年3月31日（2年間）</li> <li>・ 協力メンバー<br/>磯村康雄氏（瀬戸染付伝統工芸士、康窯窯元）<br/>長江照彦氏（照山窯・合資会社作栄製陶所代表取締役）<br/>宮田 昌俊（あいち産業科学技術総合センター せと窯業技術センター）</li> </ul> |         |                      |            |          |         |

地域貢献への  
反映を踏まえ  
て記述のこと

|  |  |
|--|--|
| <p>調査研究実績の概要</p> <p>（地域貢献への反映を踏まえて記述のこと）</p> | <p><b>【研究実績概要】</b></p> <p>1) 染付原画のデジタルアーカイブ化（大学開放期間にて平成25年度研究内容を展示）<br/> 瀬戸染付焼伝統工芸士の磯村康雄氏の協力のもと、代々伝わってきたという和紙や布に描かれた原画を調査した。瀬戸染付けの伝統を継承していくために貴重な文化財であり、染付けの技術とともにデザイン画も後世に残しておく必要があると大学、産地共に確認し、資料を保存するための取り組みを平成25年度より継続的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：高解像度でのスキャンング，取り込んだデータのアウトライン化</li> <li>・期間：平成26年4月～平成26年7月</li> </ul> <p>2) 瀬戸染付焼ワークショップの実施<br/> 「瀬戸染付焼」の伝承と教育波及効果を目的に、大学祭期間を利用して公開型の瀬戸染付ワークショップを実施した。本学の教育科目には染付を指導する教員がないため、学生にとっては、新鮮な取り組みであったようです。（アンケートより）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：瀬戸染付デジタルデータを利用して染付作品を2点以上作成する</li> <li>・期間：平成26年11月1日（土）～11月2日（日）</li> <li>・講師：長江照彦氏（伝統工芸士，照山窯/合資会社作栄製陶所代表取締役）</li> <li>・参加者：12名（本学学生10名，総社市民2名）</li> <li>・TA：3名（造形デザイン学科セラミックデザインコース）</li> <li>・作品等資料：別紙参照</li> </ul> <p>3) 瀬戸焼新商品開発事業「ランデブープロジェクト」（平成26年度地場産業振興ビジョン推進事業）の調査<br/> 愛知県陶磁器工業協同組合（愛陶工）が平成26年4月より開始した瀬戸焼新商品開発事業「ランデブープロジェクト」（平成26年度地場産業振興ビジョン推進事業）にオブザーバー参加を行い、本研究成果との連携に取り組んだ。この取り組みには、備前等岡山県内の伝統工芸産地活性化へのグッドプラクティスになる。</p> <p>現地調査及び打合せ実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回打合せ：平成26年6月15日 陶房 康窯／品野陶磁器センター<br/> 平成26年度特別研究計画について確認。また、瀬戸染付ワークショップ日程について打合せ</li> <li>・第2回打合せ：品野陶磁器センター／愛知県陶磁美術館<br/> 瀬戸焼新商品開発事業「ランデブープロジェクト」に関する資料入手<br/> 愛知県陶磁美術館企画展示「魅惑の陶生人形」「知られざる日本のノベルティ～オキユパイド・ジャパン，白雲陶器など～」について調査</li> <li>・第3回打合せ：陶房 康窯／セラミックパークMINO<br/> 磯村氏と大学開放での研究発表（ワークショップ）内容について打合せ<br/> 国際陶磁器フェスティバル美濃2014調査</li> <li>・第4回打合せ：品野陶磁器センター／瀬戸市文化センター<br/> 平成26年度地域貢献特別研究の成果と課題について打合せ<br/> 平成27年度以降の研究への取組について意見交換<br/> 瀬戸染付工芸館・研修生作品展調査</li> <li>・日本デザイン学会第3支部 平成26年度 研究発表会出席：名古屋市立大学病院・医療デザイン研究センター<br/> 他大学の地域貢献への取組等について、調査を実施</li> </ul> |
| <p>成果資料目録</p>                                | <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成25年度特別研究展示資料</li> <li>2) 第1回瀬戸染付ワークショップ実施報告書</li> <li>3) 平成26年度地場産業振興ビジョン推進事業：瀬戸焼新商品開発事業「ランデブープロジェクト」愛知県陶磁器工業協同組合（愛陶工）報告書</li> </ol>   |

